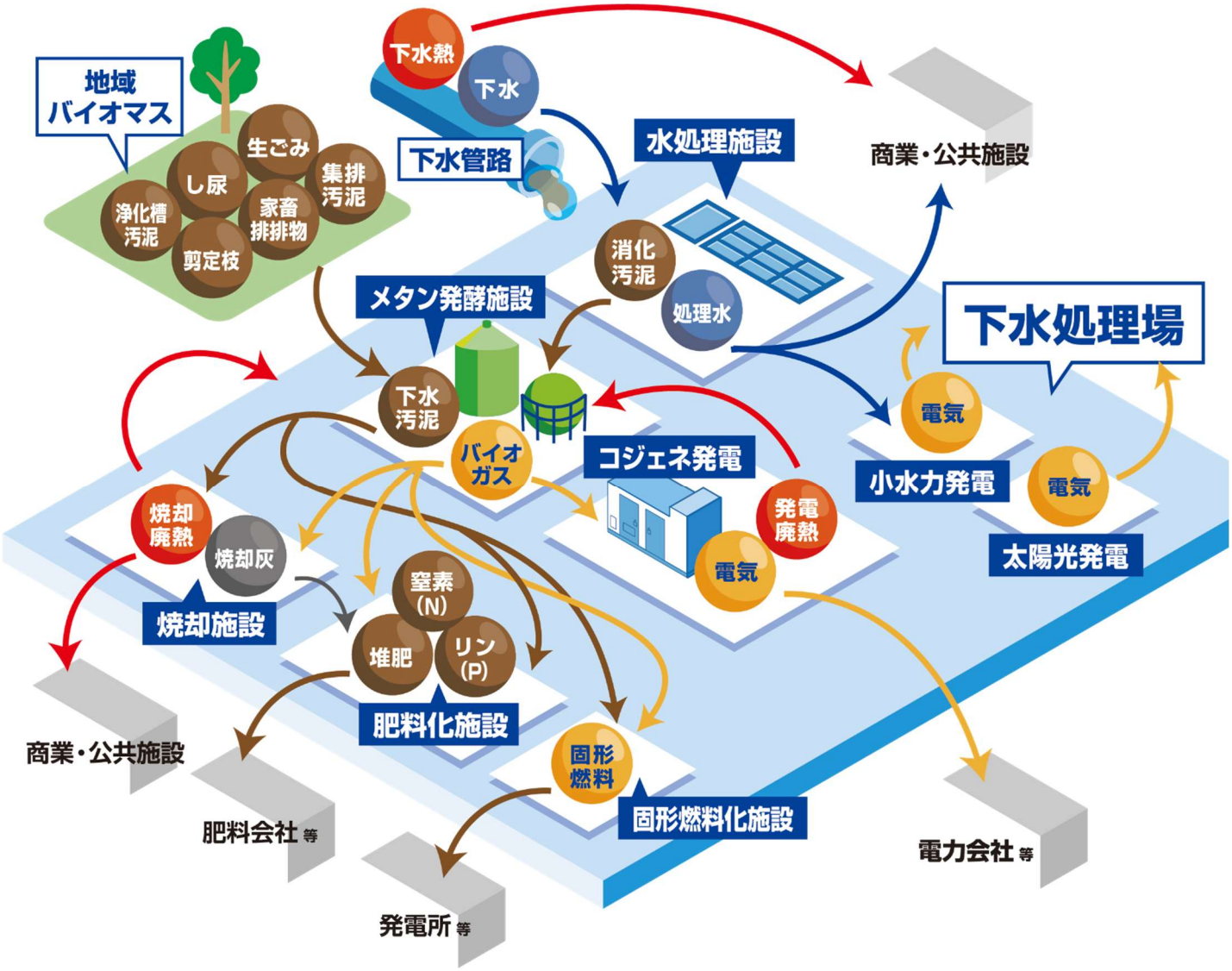
カーボンニュートラルの実現

カーボンニュートラル実現に向けて、下水道が有する資源やエネルギーを活用し、下水道を拠点とした地域づくりを支援します。

●下水道を拠点とした資源・エネルギーの活用手法



下水を利用

- 再生水(処理水)
- 小水力発電(処理水)
- 空調、給湯、融雪等(下水熱)

バイオマスを利用

- バイオガス発電
- リン回収
- 汚泥コンポスト化
- 固形燃料化

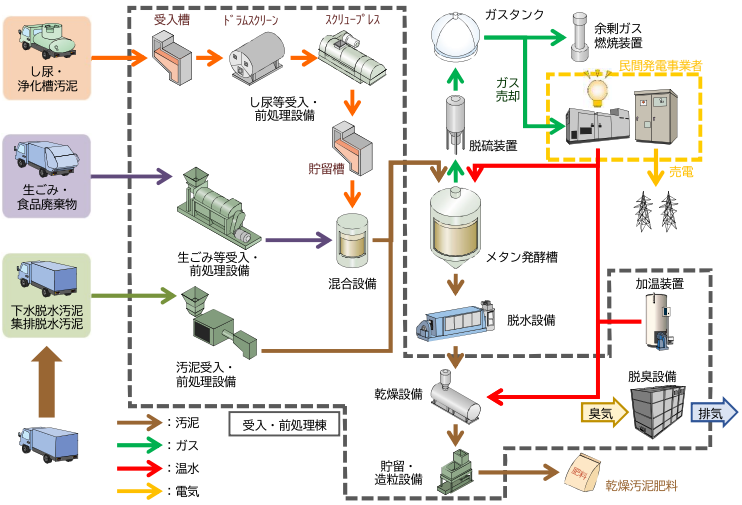
その他

- 太陽光発電(施設内の敷地)
- 空調、給湯、融雪等(焼却廃熱)

●カーボンニュートラルへの取り組み事例

■バイオマスメタン発酵施設

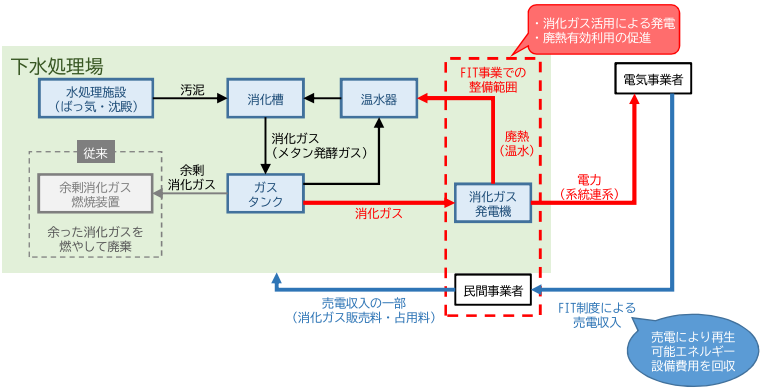
複数の地域バイオマスと下水処理場の汚泥を集約・混合し、メタン発酵処理により生ずるバイオガスを再生可能エネルギーとして活用、処理残物は肥料として緑農地に還元することができます。



ガス発生量増大に向けた取組み(有益バイオマスの選定等)や発酵槽の小型化(高濃度処理の導入)等を進めることにより、小規模の下水処理場でも導入することができます。

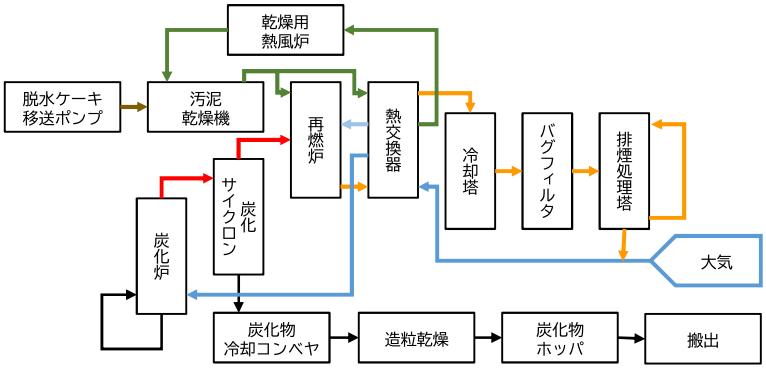
■消化ガス発電

下水汚泥の消化処理によって生ずる消化ガスを、燃料として発電に利用します。エネルギー資源として、ほぼ100%有効活用することができます。



■汚泥燃料化

下水汚泥から製造される炭化物は、石炭代替燃料として十分利用可能な発熱量を有する無臭・粉体形状の固型燃料化物として利用することができます。



地域創水で、地方創生を。
株式会社 中央設計技術研究所
Chuou Sekkei Engineering Co.,Ltd
CSE
●本社 〒920-0031 石川県金沢市広岡三丁目3番77号
JR金沢駅西第一NKビル7階
●TEL(076)263-6464(代) FAX(076)263-6922(代)
●URL https://www.cser.co.jp/